
サラリーマン多田岡

バーディ・ヴェン・菊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サラリーマン多田岡

【Nコード】

N1324B

【作者名】

バーディ・ヴェン・菊

【あらすじ】

だめサラリーマン多田岡の奮闘記

昼休み

―真っ昼間

男は公園のベンチにいた。

「多田岡さん!!」

男を呼ぶ声がした。

「あ、菅原明美さん24才!!」

女は困った顔をして言った。

「もうー、フルネームで年令付けて呼ぶのやめてくれます? もういい加減ニユースキャスターだった頃の癖治して下さいよ。」

男は頭をかきながらこう言った。

「おつといけない、菅原さん。そろそろ会社は終わる頃かな?」

女は呆れて言った。

「菅原さん学生時代よく学校フケたのは聞きましたけど会社はそんな事したらクビになるし皆が迷惑するんですから。」

男は愛想笑いをしながら言った。

「そうだったね、何とかしないとねこのサボリ癖…サボリ癖。」

女はまたも呆れて言った。

「癖じゃないですよそんなのは。だいたい多田岡さんはいつも癖を言い訳にするんですから。この間だって社内のバレー大会でボール避けたりキャッチして相手にぶついたりネットに引っかけたり暴れたり、味方にカンチョーしたりして全部癖癖って、いったい何の癖なんですかそれ？いい加減にして下さいよまったく。」

「癖じゃないですよそんなのは。だいたい多田岡さんはいつも癖を言い訳にするんですから。この間だって社内のバレー大会でボール避けたりキャッチして相手にぶついたりネットに引っかけたり暴れたり、味方にカンチョーしたりして全部癖癖って、いったい何の癖なんですかそれ？いい加減にして下さいよまったく。」

女は困り果てて言った。

「何ですかそれは？今度は伝言ゲームやってた子供の頃の癖ですか？何でもいいですけどよその課の人の前でそういうとこ見せるのやめて下さいね恥ずかしいんですからこっちが。」

背を向け立ち去る女に多田岡は持っていたエアガンを乱射して逃げさった。

昼休み（後書き）

感想・ご意見等お寄せ下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1324b/>

サラリーマン多田岡

2010年10月21日22時42分発行